

事例コード | 201102

2011年（平成23年） 台風12号による災害

1. 災害の概要

(1) 被害の概要

①災害の概要

平成 23 年 8 月 25 日にマリアナ諸島の西の海上で発生した台風 12 号は、発達しながらゆっくりとした速さで北上し、30 日には小笠原諸島付近で中心気圧が 965 ヘクトパスカル、最大風速が 35 メートルの大型で強い台風となった。台風は、いったん西に進んだ後、北向きに進路を変え、9 月 2 日には大型の台風となって暴風域を伴ったまま四国地方に接近し、3 日 10 時前に高知県東部に上陸した。台風はその後ゆっくりとした速さで北上を続け、18 時頃に岡山県南部に再上陸した後、4 日未明に山陰沖に進み、5 日 15 時に日本海中部で温帯低気圧に変わった。

台風が大型でかつ動きが遅かったため、長時間にわたって台風周辺の非常に湿った空気が流れ込み、西日本から北日本にかけて、山沿いを中心に広い範囲で記録的な大雨となった。8 月 30 日 17 時から 9 月 5 日 24 時までの総降水量は、紀伊半島を中心に広い範囲で 1,000mm を超え、多いところでは年降水量平年値の 6 割に達し、紀伊半島の一部の地域では解析雨量（※解析雨量とは気象レーダーと、アメダス等の雨量計観測値を組み合わせて、雨量分布を 1km 四方の細かさで解析したもの）で 2,000mm を超えた。

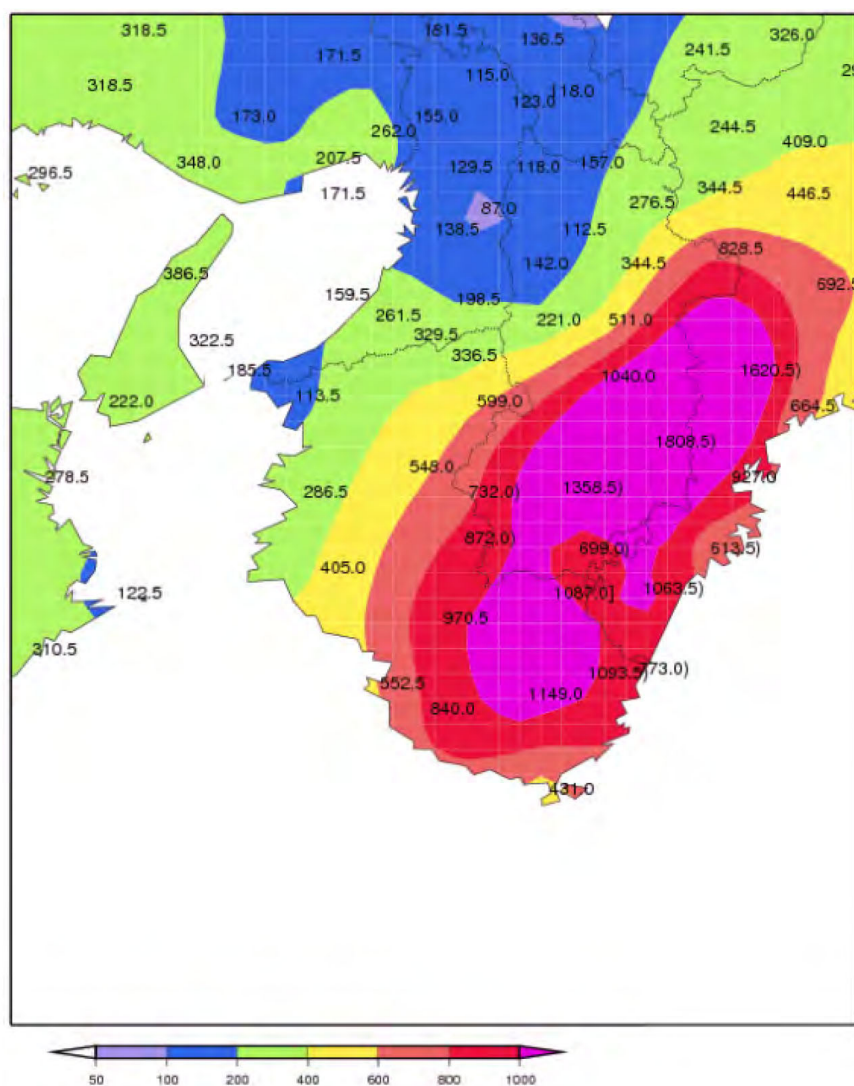


図 アメダス期間降水量（8月30日18時～9月4日24時）（単位：mm）

（出典）田辺市「平成 23 年台風第 12 号による災害の記録」（平成 24 年 7 月）

②被害状況

台風により発生した豪雨によって、土砂災害や河川氾濫等が発生し、全国では死者 82 名、負傷者 113 名の人的被害、住宅の全壊 380 棟、半壊 3,159 棟、一部破損 466 棟、床上浸水 5,499 棟、床下浸水 16,592 棟の住家被害をもたらした。

和歌山県内では、死者 56 名（うち災害関連死 6 名）、行方不明者 5 名という人的被害の他、土石流 58 件、地すべり 4 件、がけ崩れ 34 件の合計 96 件の土砂災害が発生した。

また、公共土木施設被害は 1,181 件発生し、県工事による復旧金額は 368 億 5 千 5 百万円に及んだ。

表 台風 12 号による和歌山県における被害状況（平成 24 年 8 月 31 日現在）

区分	細分	被害額（百万円）	
人的被害（人）	死者	56	
		—	
家屋被害（棟）	全壊家屋	367	
	半壊家屋	1,840	
公共土木施設被害（箇所）	河川	842	21,748
	海岸	1	32
	砂防	35	1,366
	急傾斜	1	40
	道路	288	12,933
	橋梁	10	629
	港湾	4	107
	合計	1,181	36,855

（出典）和歌山県 県土整備部「平成23年紀伊半島大水害の被害と復旧の記録」



図 和歌山県内の被害状況

（出典）和歌山県 県土整備部「平成23年紀伊半島大水害の被害と復旧の記録」

③主な災害箇所

和歌山県内では南部を中心に道路、河川、砂防等に関する被害が発生した。

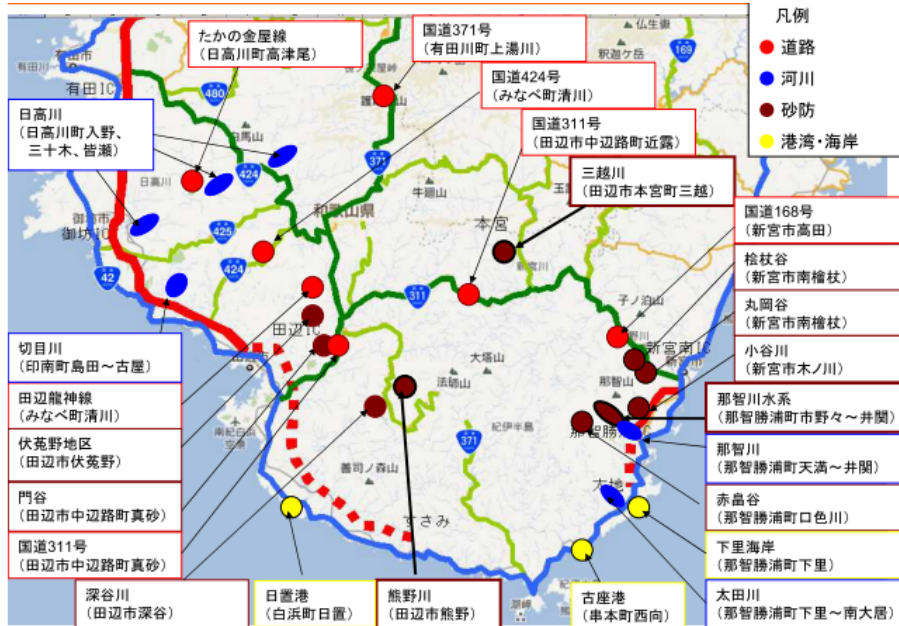


図 和歌山県内の被災箇所とその復旧状況

(出典) 和歌山県 県土整備部「平成23年紀伊半島大水害の被害と復旧の記録」

④災害後の主な経過

9月2日早朝、新宮市に「大雨・洪水警報」が発令され、その後、新宮市に災害対策本部が設置され、9月3日に那智勝浦町に、9月4日に和歌山県にそれぞれ災害対策本部が設置された。

一方、国においても、9月4日に非常災害対策本部が設置された。

その後、和歌山県は9月5日に災害救助法の適用を決定し、9月14日に被災者生活再建支援法の適用を決定した。

表 災害後の主な経過（和歌山県・新宮市・政府の主な取組）

年	月日	和歌山県・新宮市の対応	政府の対応
平成 23年	9月2日	19:00 新宮市災害対策本部設置	
		20:40 新宮市避難勧告発令（熊野川町日足・能城地区）	
	9月3日	06:21 新宮市一部地域孤立（熊野川町能城山本地区内）	
		18:00 那智勝浦町災害対策本部設置	
		20:40 新宮市避難指示発令（相筋1丁目・2丁目） 以降、23:45まで順次避難指示発令 23:39 県知事より自衛隊へ災害派遣要請	
	9月4日	8:00 和歌山県災害対策本部設置	
			20:00非常災害対策本部設置
	9月5日	災害救助法の適用決定	
9月8日		国土交通省、土砂災害防止法に基づく土砂災害緊急情報通知	
9月14日	和歌山県被災者生活再建支援法適用	激甚災害指定（閣議決定）	

(出典) 内閣府「平成23年台風第12号による被害状況について」（平成24年9月）、新宮市「紀伊半島大水害 新宮市記録集」（平成27年3月）、近藤他「2011年台風12号豪雨水害における和歌山県紀南地方の市町の対応」（生産研究64巻4号）より作成

2. 災害復興施策事例の索引表

201102	緊急 対応期	応急復旧期 (避難期)	本格復旧、 復興準備・始動期	本格 復興期
1. 復興への条件整備 1.1 復興に関連する応急処置				
施策1: 被災状況等の把握		●————→【20110201, p117】 (和歌山県)		
施策2: がれき等の処理				
1.2 計画的復興への条件整備				
施策1: 復興体制の整備		●————→【20110202, p117】 (和歌山県)		
施策2: 復興計画の作成			●————→【20110203, p118】 (新宮市)	
施策3: 広報・相談対応の実施			●————→【20110204, p118】 (和歌山県)	
施策4: 金融・財政面の措置			●————→【20110205, p118】 (新宮市)	
2. 分野別復興施策 2.1 すまいと暮らしの再建				
施策1: 緊急の住宅確保		●————→【20110206, p122】 (新宮市)		
施策2: 恒久住宅の供給・再建				
施策3: 雇用の維持・確保				
施策4: 被災者への経済的支援			●————→【20110207, p122】 (那智勝浦町)	
施策5: 公的サービス等の回復		●————→【20110208, p122】 (新宮市)		
2.2 安全な地域づくり				
施策1: 公共施設等の災害復旧				
施策2: 安全な市街地・ 公共施設整備				
施策3: 都市基盤施設の復興				
施策4: 文化の再生				●————→【20090109, p123】 (新宮市)
2.3 産業・経済復興				
施策1: 情報収集・提供・相談				
施策2: 中小企業の再建				
施策3: 農林漁業の再建				